

HOKKAIGAKUEN UNIVERSITY

令和7年度9月期
卒業証書・学位記授与



卒業証書・学位記授与

去る9月30日、ホテル札幌ガーデンパレスにおいて、令和7年度9月期卒業証書・学位記授与式が行われた。学部から54名（経済学部12名・経営学部6名・法学部21名・文学部8名・工学部7名）の卒業生と、大学院から1名（経済学研究科・博士課程1名）の修了生を送り出した。

令和7年度9月期卒業生・修了生数		
学部	学科	数
経済	1部 経済学科	2
	2部 地域経済学科	5
経営	1部 経営学科	1
	2部 経営情報学科	4
法	1部 法律学科	6
	2部 政治学科	12
人文	1部 日本文化学科	1
	2部 英米文化学科	4
工	1部 社会環境工学科	6
	2部 建築工学科	1
計		54
大学院修了生		1
計		55

（単位／人）

経済学部教授
早尻 正宏

スウェーデン農科大学南スウェーデン森林研究センターで2年前、客員研究員をしていたとき、同僚との会話で不思議に思うくだりがあった。「この研究は〇%で、もう一つの研究は〇%」「講義は〇%」「この業務は〇%だから、通勤は週〇回」といった具合である。

スウェーデンの大学人事情

それが、給与を構成する各業務の割合に対応しているというわけだ。センターには当時66人のスタッフがおり、研究・教育の主軸は教授5人、上級講師（准教授相当）9人、准上級講師（助教相当）2人、研究員13人、ポストドク6人などであった。学外からは違いが分からないが、教授には国際公募で採用された「フル教授」と、内部昇任による「昇任教授」がいた。前者は狭き門で、その人数は3人だった。

教授・上級講師・研究員に任期はないものの、フル教授を除けば、その地位は安泰とはいえない。というのも、職位ごとに学部で、あらかじめ決められた日5時間・15日間の講義には学部が給与の6%を負担（給与の60%を負担）や講義手当（1日5時間・15日間の講義が尽きれば職場を去る。実際、同じ研究グループの上級講師は、資金調達の目途が立たなくなり、筆者が帰国して間もなく退職した。You employ yourself. の原則は、大学ごとに多

少のバリエーションはあるものの、スウェーデンに共通する学者的働き方である。獲得必須の外部資金は、複数の資金源を組み合わせたのが一般的だ。ただし、フル教授の枠の狭さ、それに伴う身分の不安定さ、そしてリラックスした日常——こうした絶妙なワークライフバランスの上で、彼の地の大学人は生き抜こうとしている。農学部や工学部に身を置いた若かりし頃の焦り癖が抜けない私には、それはまるで曲芸のように映る。



今秋来校したセンターの元同僚のレナツ・トルビン上級講師と7号館屋上にて（右が筆者）

8月3日に第36回人文文学の挑戦が「40歳から凡人として生きるための文学入門講座」と題して開催された。講師・人文文学部森川慎也教授より、なぜ40歳から凡人なのか？なぜ文学なのか？という問いかけと趣旨説明があり、凡人として生きるための指南書となりそうな文学作品として、サマセット・モーム、V・S・ナイポール、カズオ・イシグロなどの作家の小説が紹介された。凡人なりに人生の模様を織りつつ、日常にユーモアとペーソスを見出し、舞台上の役者のように凡人を演

令和7年度9月期卒業式に寄せて

会は、地球温暖化による気候変動の激化、少子化の進行による人口減少と高齢化、人口知能やSNSの急速な発達により、大きな転機を迎えています。みなさんがこれから就かれる仕事は、どのような分野の仕事であれ、これらの新しい現実への挑戦となるでしょう。これまでに経験したことのない現実、立ち向かうには、新しい知恵の創造と、その知恵を活かす人々の協力が不可欠です。最近の社会の様子を見てみると、自分の考えをけんか腰でぶつけ合うような言論が飛び交っているように思えます。見たいものしか見ようとする偏狭な態度の表れといえるでしょう。しかし、このような態度に固執しては、未来を切り開く新たな知恵も協働も生まれません。それを可能にするのは、みなさんが大学で身に付けて学問する心と力に他なりません。みなさんには、学問をも一生の友として、それぞれのよき人生を歩んでいただきたいと、心から願っております。最後に、わが北海学園大学もまた、みなさんの母校として、よりよい社会の実現のために努めてまいりますことをお誓い申し上げます。

40歳から凡人として生きるための文学入門講座

文学部・森川慎也教授（左）と佐藤貴史教授

第36回 人文文学の挑戦

第62回 法学部カフェ

法学部は7月26日、日本におけるパレスチナ／イスラエル研究の第一人者である錦田愛子先生（慶応義塾大学法学部教授）をお迎えし、「ドイツとパレスチナ問題」をテーマにガザ攻撃をめぐる反セム主義のくびきについて、ドイツにおけるアラブ系移民の現状をふまえて解説した。後半には、本田先生からのコメントと参加者からの質疑応答がおこなわれ、ドイツ市民の反応やイスラエルの対応についての質問に対し、錦田先生は分析と経験の両側面から回答した。今回の法学部カフェでは、戦争そのものだけでなく、それを国際社会がどうとらえるべきかを議論する貴重な機会となった。



法学部・本田宏教授（右）と慶應義塾大学錦田愛子教授

浅羽祭挙行

学校法人北海学園主催による令和7年度浅羽祭が10月22日、本学4号館第三会議室において厳粛に執り行われた。浅羽祭は、北海学園創立功労者である浅羽靖先生（1854～1914）のご命日に行われる慰霊祭。毎年、浅羽先生をはじめ物故された歴代の理事長、学長、校長さらに、この1年間に逝去された教職員及び学生・生徒のご冥福をお祈りしている。



出席した関係者

豊陵会寄贈絵画 ①

『北端の運河』 富澤謙

1996年度道展出品（油彩100号）
豊平校舎3号館3階展示



《プロフィール》1934年小樽市生まれ。元小樽市中学校美術教諭。北海道美術協会（道展）会員。1967年道展会員、1970年一水会初入選、1973年一水会賞受賞、1974年一水会会員、1981年一水会会員佳作受賞、1972年～個展、ヨーロッパ取材、日展入選。

世界の言語と文化の
モザイクを眺める

北海学園大学 市民公開講座

韓国・朝鮮語、中国語、フランス語、ドイツ語の4種類の言語とそれぞれの地域の文化等について学ぶ市民公開講座「世界の言語と文化のモザイクを眺める」が、10月4日から4回にわたって行われた。各講師の研究成果を盛り込んだ受講内容は毎回好評で、参加者は今年も熱心に聞き入っていた。本学では、英語以外にもさまざまな外国語科目を開講し、学生たちが各自の関心に従って外国語を学ぶとともに、広く海外の事象について理解を深める場を提供している。



韓国・朝鮮語、韓国・朝鮮文化について講演する経済学部 辻弘範教授



「物価高に対する食の支援事業」の様子



「健康イベント」の様子

本学では、米などの食料品価格高騰の影響により、厳しい生活を余儀なくされている学生に対し、日本学生支援機構の助成を受けた「物価高に対する食の支援事業」を10月20日、24日、北海学園生活協同組合の協力のうえ豊平校舎および山鼻校舎で行った。支援品レトルトのごはん、カップラーメンなど4種のセット約500名分を、事前申込のあった学生に配付した。

また、医務室主催の「健康イベント」も同時開催し、多くの学生が参加した。

物価高に対する食の支援事業 および健康イベント実施

令和7年度「豊平会」総会・懇親会



今年も大いに盛り上がった懇親会

令和7年度同窓会「豊平会」総会・懇親会（同窓の夕べ）が10月25日、札幌パークホテルで開催された。総会に先立ち全国支部長会議が開催され、支部活動の報告・意見交換と、工学部・新沼協准教授による「キャンパスから地域へ」学生が挑むワイン研究と新たな広がり」と題した特別講演を行った。

総会・懇親会には約550名が出席。はじめに、10月23日にプロ野球ドラフト会議で指名を受けた硬式野球部の工藤泰三さん（広島4位・経済学部4年）、高谷舟さん（オリックス5位・経済学部4年）、常谷拓輝さん（日ハム育成1位・人文学部4年）に花束贈呈があり、今後の抱負を述べた。学校法人北海学園安酸敏眞理事長による祝杯をあげた後の懇談では、旧友との近況報告や昔話に花が咲いた。

スタディ小山さん（平成3年法学部卒業）のライブや、恒例の豪華景品が当たる学園グレイトビン

北海学園大学同窓会 「豊平会報」

北海学園大学同窓会で発行している「豊平会報」を下記のQRコードよりご覧いただけます。



左から常谷内野手、高谷投手、森下学長、工藤投手、島崎監督



作家の河崎秋子氏

経済学部北海道経済論講師に作家・河崎秋子氏（経済学部OG）
経済学部は10月3日、C31番教室において、卒業生で作家の河崎秋子氏を講師に迎えて「北海道経済論」の特別授業が行われた。

河崎氏は2002年に本学を卒業後、ニューヨークで綿羊飼育を学んだ。帰国後は、別海にある実家の牧場で羊飼いをしながら執筆活動を行っていた。

河崎氏は、北海道の熊問題について、熊の学習能力の高さと記憶力の良さ、執着という特徴に触れ、加害した熊の駆除が必要である一方、善意による様々な意見があることに言及。野生動物に関わる現場と、そうではない人たちの意見の相違を語った。また、牛乳・乳製品の過剰消費について、シ

北海道の自然と産業、現場だからわかること

活動が続け、「颯風」の王」で、2014年三浦綾子文学賞と2016年JRA馬事文化賞、2019年「肉弾」で第21回大蔵春彦賞、2020年「土に贈る」で第39回新田次郎文学賞など数々の文学賞を受賞。2024年には「ともぐい」が直木賞を受賞した。河崎氏は、北海道の熊問題について、熊の学習能力の高さと記憶力の良さ、執着という特徴に触れ、加害した熊の駆除が必要である一方、善意による様々な意見があることに言及。野生動物に関わる現場と、そうではない人たちの意見の相違を語った。また、牛乳・乳製品の過剰消費について、シ

教育会館1階ホール改修計画

工学部建築学科学生チームの発表会を開催



発表された改修案



参加した学生たち

今回の発表会は、学生たちが日頃の学びを実践する貴重な機会となると同時に、大学の将来を担う施設改修において、若者の斬新なアイデアを取り入れる有意義な場となった。

この経験を通して、学を単なる使う場所ではなく、自分たちが意見を出して、未来を形作れる存在なのだと思える。当日は、全11名の大学院生・学生のうち5名の大学院生・学生チームが、自分たちの作成した3つの改修計画案を関係者に披露した。

10月6日の北海道新聞「学びeye」に、図書館サークル「おおぐま座」の紹介記事が掲載された。記事は「多彩な『推し本』」と題して、北海道内各地で開催されているビブリオバトルを取り上げ、高校生や大学生にその魅力やおすすめの本を聞いている。ビブリオバトルは、発表者たちがおもむきでビブリオバトルを5分で紹介し、参加者全員が一票を投じて「チャンプ本」を決めるというコミュニケーションゲーム。

「おおぐま座」は、図書館サークル「おおぐま座」の紹介記事が掲載された。記事は「多彩な『推し本』」と題して、北海道内各地で開催されているビブリオバトルを取り上げ、高校生や大学生にその魅力やおすすめの本を聞いている。ビブリオバトルは、発表者たちがおもむきでビブリオバトルを5分で紹介し、参加者全員が一票を投じて「チャンプ本」を決めるというコミュニケーションゲーム。

経営学部講師
川津 大樹

「これからは、従来のダブル・スタンダードではなく、シングル・スタンダードの時代になる。」これは、筆者が大学時代に受講した会社法の講義を担当された先生の一言であった。今から約20年前の話であるが、会計基準と「スタンダード」を研究する度、会計学の領域でも

「シングル・スタンダード時代」と コーポレート・ガバナンス

「これからは、従来のダブル・スタンダードではなく、シングル・スタンダードの時代になる。」これは、筆者が大学時代に受講した会社法の講義を担当された先生の一言であった。今から約20年前の話であるが、会計基準と「スタンダード」を研究する度、会計学の領域でも



研究室を訪ねて

Vol. 21

法学部法律学科

瀬川 行太 准教授

【刑法Ⅱ】

北海道大学大学院法学研究科博士後期課程修了。博士（法学）（北海道大学）。研究テーマは犯罪論における同時存在原則、危険の引受け。

本学で活躍する専任教員の研究を、その人となりとともに紹介する「研究室を訪ねて」。第二十一回は、刑法Ⅱなどの授業を担当する法学部の瀬川行太准教授の登場です。

——先生は北海道大学から同大学院にて博士号を取得し、現在まで法学ひと筋という印象です。もともと法律に興味があったのですか？

瀬川 ええ。でも、高校では医学部志望の人が多かったこともあり、最初は医学部志望でした。一浪して北大工学部に入り、どの授業を取ろうかと考えているときに、所属学部にかかわらず履修できる「犯罪と法」という半期のゼミを見つけました。履修希望者が多かったため、抽選科目だったの

ですが、運よく抽選に当たり履修したところ、これがおもしろく、すっかりはまっていってしまったんですね。このことが、法学部へ転部するきっかけになりました。——そのおもしろさとは何でしょう？

瀬川 私は答えが一つにバチッと決まる数学がすごく好きだったんですが、刑法は数学と同様、論理的に考える一方で、答えが一つではない点が新鮮でした。また、刑法上の問題について皆で議論して、色々な見解が出された後で、「あなたは何が妥当と考えますか」と問われる、その過程も魅力的に思えました。

——工学部から法学部への転部は珍しいですね。

瀬川 そうですね。転部の話をするのと大抵の人には驚

かれるので、私のようなケースはそう多くはないと思います。その時に、転部するからには大学院の博士課程まで行き、研究者を目指すと考えました。

ところが、三年生から法学部に転部して卒業はできなかったのですが、大学院入試は不合格でした。残された選択肢は、既卒として就職活動を始めるとか、公務員採用試験を受けるか、もう一回大学院入試を受けるかの三つでした。そこで、よく考えて、大学院入試に再度挑戦して合格し、なんとか研究者の道を歩むことができた。実は私の父は、かつて本学のドイツ語の研究

簡潔な条文から多様な解釈 大切なのは論理性と説得力

——胎児と言えば、明治後期研究職を目指すことには理解のある環境で育ったので、その点は恵まれていたと思います。

——現在担当されている講義は刑法基礎と刑法Ⅱです。

瀬川 刑法Ⅱは、刑法各論といわれるさまざまな犯罪についてその事例、犯罪の成立要件や裁判例をまとめたレジュメを配り、それを元に説明しています。

例えば殺人罪。日本の刑法に影響を与えたドイツ刑法では、殺害方法や殺害動機などによって、謀殺が故殺かに区別されますが、日本の刑法の条文には、「人を殺した者は、死刑又は無期若しくは五年以上の拘禁刑に処する」とあるだけです。また、殺人罪の対象となる「人」の定義もありません。出産中に、母体から胎児が頭部を現したところで、第

三者が殺意をもって胎児の顔面を圧迫して殺害した場合、殺人罪が成立するかどうかは、その胎児を人とするかどうかによります。「出産して初めて人だ」という意見のほか、「一部でも母体から出ていれば人だ」と陣痛が始まった段階から人だなど、論者の価値観に基づいたさまざまな主張があり、議論になります。最高裁の判決が出た場合も、それが必ずしも正しいわけではありません。

刑法は論理的で説得力のある見解が求められる学問ですが、条文が簡潔で、その解釈に委ねられる部分が大いなのが特徴です。

——「同時存在原則」はどの

ようなものですか。

瀬川 例えば、犯罪行為が行われる際に、行為者に責任能力がないと処罰することとはできません。これを「行為と責任の同時存在原則」と呼びます。では、大量のお

よなものです。

条文との整合性を どう取るか

——先生の研究テーマについて教えてください。

瀬川 「危険の引受け」と「同時存在原則」です。「危険の引受け」とは、被害者が危険を認識したが、あえてそれを引受けて行為に出たところ、不運にも結果が発生した場合に、犯罪の成否は



先生の趣味のひとつである読書。最近読んでおもしろかった、宮島未奈の「成瀬」シリーズ。

死刑制度について

瀬川先生の
プチ解説

死刑制度をめぐる問題の中で最大の争点は、死刑の存廃をめぐる議論です。死刑を制度上又は事実上廃止した国は100ヶ国以上に及び、世界的には死刑廃止の方向にあります。日本では、2024年の内閣府の世論調査によれば、「死刑もやむを得ない」と回答した割合は83.1%で、死刑存置論が世論の大勢を占めています。死刑の犯罪抑止効果に関する主張を除くと、死刑存置論からは、「死刑を廃止すれば、被害者やその家族の気持ちがおさまらない」、「凶悪な犯罪は命をもって償うべき」との主張がなされ、他方で死刑廃止論からは、「国家であっても人を殺すことは許されない」、「裁判に誤りがあったときに、取り返しがつかない」との主張がなされています。この問題を考えるにあたっては、なぜ国家が罪を犯した者に対して刑罰を科すことができるのかという点が重要ですが、死刑との関係ではいまだ見解の一致をみないのが現状といえます。



講義をするホーグ准教授

教員交換プログラム
カナダ・レスブリッジ大学から
ホーグ准教授着任

学校法人北海学園とカナダ・レスブリッジ大学との交流協定に基づき、令和7年度第2学期の交換教員としてホーグミシェル准教授が9月17日、本学に着任した。ホーグ准教授は、本学の「カナダの自然と社会Ⅱ」を担当する。任期は12月11日まで。

新任教員 挨拶

法学部

法律学科
准教授



本年度より「国際法」論を担当します。専門は国際法で、海賊行為や海上の軍事的活動に関する問題など、海上の警察・安全保障に関する法的な問題を中心に研究を行っています。近年、国際社会の大きな変動のなかで、国際法の存在意義が問われる場面は少なくありません。より良い国際社会を作っていくために、国際法には何ができるのか、学生の皆さんとともに考えていきたいと思っています。

全国第1位を獲得！

大学スマホサイトユーザビリティ調査

株式会社日経BPCコンサルティングによる「大学スマホ・サイトユーザビリティ調査2025-2026」において、本学Webサイトが総合ランキング全国第1位となった。2022年以来2度目の総合1位となる。この調査は、全国の国立・公立・私立大学256サイトを調査対象とし、以下8つの審査カテゴリー（指標）

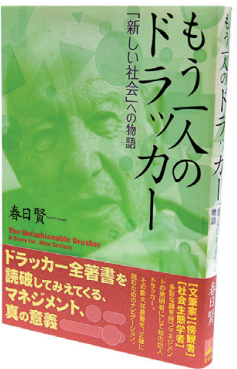
1. 通信への配慮
2. 見やすさ
3. 操作のしやすさ
4. トップページ・ユーザビリティ
5. サイト・ユーザビリティ
6. メインコンテンツへのアクセス
7. サイト内検索
8. インタラクティブ

順位	大学名	総合スコア
1	北海学園大学	97.33
1	名古屋市立大学	97.33
3	東京工芸大学	96.44
4	工学院大学	93.33
5	東京都市大学	86.89
6	駒沢女子大学	86.67
7	金城学院大学	86.56
8	西日本工業大学	83.33
9	東京工科大学	83.00
10	青山学院大学	82.89
11	北海道科学大学	81.22
12	城西国際大学	81.11
13	明治学院大学	80.56
14	帝京大学	80.22
15	立教大学	79.67
16	崇城大学	79.33
17	神戸学院大学	78.89
18	静岡県立大学	77.00
18	東京電機大学	77.00
20	大阪電気通信大学	76.22

ドラッカーの全著書を辿る一冊

ビジネス・パーソンなら誰でも知っている、少なくとも聞いたことはあるドラッカー。70年以上前にマネジメント発明の書「現代の経営」が邦訳出版されて以来、いまだに問われていることがある。「なぜドラッカーを読むのか」。時代を超えて読まれ続ける彼の魅力とは何だろうか？

実際、「現代の経営」は、今なお読者を引き込む魅力に満ちあふれている。「マネジメント」は経営とは単に自社の利益をあげるのみならず、社内にある働き手



『もう一人のドラッカー
「新しい社会」への物語』
春日賢 著
青灯社 2024年

国際交流プログラム

海外研修で異文化体験

人文学部英米文化特別演習Ⅱ
アメリカ・ポートランド州立大学Keep Portland Weird
(変わり者といふこと)

人文学部日本文化学科3年

廣澤 桃夏

アメリカは「自由の国」と呼ばれている。それは誰もが知識として知っていることだが、実際にその意味を肌で感じたのが今回のポートランドへの短期留学だった。



紀伊國屋書店ポートランド店

この街の中心には「Keep Portland Weird (変わり者といふこと)」というスローガンが掲げられており、その言葉の通り、ポートランドの人々は良くも悪くも自由で個性的だった。腰に大きなスピーカーをぶら下げて音楽を流しながら歩く人、バス停の近くでスケボーを練習する若者たち。日本では少し変わった行動も、誰も注意せず、自然に受け入れていた。最初のうちは

その自由さに戸惑っていたが、私も次第にそれが心地よく感じられるようになった。そしてある日、通りを歩いていると、反対側の歩道から女性が近づいてきた。何をされるのだろう、と少し身構えた私に彼女はにっこり微笑みながら「あなたの服とても素敵」と言った。彼女に感謝を告げて別れたあと、私はその言葉が嬉しくて、思わずスキップしてしまいたくなった。日本なら私ほどの年齢の人がスキップしているのはおかしいことだ。だけれどその時、ここは「変わり者」を受け入れてくれる土地なのだと思う出した。少しの緊張と恥ずかしさの中、私は小さい頃のように、でもあの時よりも少し拙くなったスキップで、古い石造りの街並みを進んだ。日本は安全で住みやすい国だと留学を通して実感した。けれどそれと同時に、あの自由で乾いたポートランドの空気が今も恋しい。

夏期海外研修

韓国・大田大学校

사랑하는 친구

法学部政治学科2年

福岡 望



制服ロッテワールド

私は夏の韓国語学研修に参加しました。親元を3週間という長い間離れたことがなく、とても不安でした。しかし、友達と同じ部屋で暮らしていくうちに、楽しく過ごせるようになっていきました。お互いが困ったことがあれば助け合い、協力し、3週間を過ごしました。日常生活では、私はあまり韓国語が話せないため、いつも友達に助けてもらっていました。韓国の方々

も優しく、私が話していることを理解してくれようとしていたり、調べてくれたりしました。韓国人と話すことが人生で初めてだったため、新鮮でも楽しかったです。大田大学の学生さんたちもとても良くしてくれて、毎日楽しい学校生活を送ることができました。学園から一緒に研修に行った友達や、韓国でできた友達、みんなと文化体験をし、勉強し、沢山食べたり遊んだり、人生で一番楽しい思い出になったと思います。語学研修だからできる体験を沢山させていただき、長期留学ではなく、学生特権の夏休みという期間を使って語学研修に行くことに意味があると考えます。

経営学部 海外総合実習Ⅱ
アメリカ・ハワイ大学行動力や適応力の
大切さを実感

経営学部経営学科3年

堂坂 美友

私は今年度、経営学部の海外総合実習プログラムに参加し、ハワイ大学で3週間、英語や文化を学びながら企業訪問も行いました。毎日新しい発見の連続で、まるで1か月以上滞在したかのような充実感を得ることができました。



海の前で撮ったKSJの女子メンバーとの写真

最初は信号機や交通ルール、時間感覚など日本との違いに驚き、バスが予定より早く出発し、乗り遅れそうになったこともありましたが、次第にその環境にも慣れていきました。特に印象に残っているのはホームステイです。穏やかで優しいホストファミリーとの夕食の時間は一日の楽しみであり、異文化の中で人の温かさを感じる貴重な時間でした。自由時間にはハワイの食や景色にも触れ、レナズベーカーリーのマラサダのふわふわした食感と、時間帯ごとに表情を変える海の美しさが強く印象に残っています。この経験を通して自分の行動力や適応力の大切さを実感し、支えてくれた家族や仲間、そして挑戦を決めた自分に心から感謝しています。

第43回全日本中国語スピーチコンテスト

北海道大会で優勝

10月11日、第43回全日本中国語スピーチコンテスト北海道大会が札幌のかでる27で開催され、朗読(一般・大学生)の部に本学から2名が参加し、経済学部4年江藤翔舞さんが見事優勝し、法学部2年松本菜利さんが3位に入賞した。



優勝した江藤翔舞さん



3位に入賞した松本菜利さん

グリークラブ

金賞&朝日杯受賞

10月5日にコーチャンフォー釧路文化ホールで行われた第76回北海道合唱コンクール大学・職場・一般部門大学ユース・混声合唱とピアノの合奏の部において、本学は以下の巨匠の情景より「II. いつも夕焼けがある」(和合亮一/信長貴富)・2025年度全日本合唱コンクール課題曲集よりG4「不思議」(金子みすゞ/石若雅弥)



グリークラブのメンバー

アメリカンフットボール部

全国大会出場

8月24日より開幕した第51回北海道学生アメリカンフットボール選手権表として、11月8日、12月24日に行われる全日本大学選手権(石川県金沢市営球場)への出場し、5勝0敗という好成績を収め、2年連覇を決めた。



アメリカンフットボール部のメンバー

全国大会1回戦では北陸代表の福井県立大学と対戦し、54-49で逆転勝利した。2009年にはじまった同選手権で、北海道代表が白星を挙げたのは初となる。

沼田町空き家リノベーション・プロジェクト2025「3・4巡目」

工 学 部
建築学科

2017年から工学部建築学科では、岡本研究室を中心として、沼田町の空き家リノベーション活動に取り組んでいる。2019年度には本学と沼田町との包括連携協定締結にもつながり活動を継続している。今年度の3巡目は8月23日から4泊5日で行われた。到着した第1陣は、2時間弱の作業を終えた後、夜高あんど



小上がりの土台を制作



横山町長と記念撮影

4巡目は9月16日から5泊6日。初日は現地の内装業者から壁紙貼りの実演講習を受けた。学生たちは、下地が整った壁への壁紙貼りと、小上がりに設置する囲炉裏の製作、フロリング敷き、洗面脱衣室での養生と漆喰塗りなど、各所で仕上げ作業を行った。3日目は壁紙を貼り終え、4日目にはフロリング材の敷き込みを完了した。5日目は清掃と可動式本棚の据え付けなど、内装の仕上げを終えた。お披露目会には横山町長をはじめ沼田町民や移住体験中の方が訪れた。学生たちは達成感に溢れ、リノベーションの内容を目を輝かせながら説明していた。このプロジェクトを通じて建築技術だけでなく、チームワークや計画性、コミュニケーションなど、社会で求められるスキルを身につけることができた。

私の学び

経済学部地域経済学科3年

おおはし たくや
大橋 拓哉

福島市内の金水晶酒造にて

私が所属する大貝ゼミは、8月25日から4日間、福島県を訪ねました。福島県の酒づくりを学ぶためです。県内の酒蔵や酒造組合、公

福島県で学ぶ酒づくりのおもしろさ

私たちが、福島県での学びを基に、秋以降、政策提言フォーラムへの参加や論文執筆を通じて学びを形にしていこうと利き酒選手権にも出場していきたくと考えています。



学園人脈記

第33回

株式会社ファイターズ スポーツ & エンターテインメント
事業本部 営業統括部 法人営業部 法人営業第1グループ チーフ **阿部島 圭太 氏**

経営学部経営学科 2018 年度卒・13 期生

ファイターズの営業職の仕事は主に二つで、一つは看板広告やキャンペーンなどのスポンサー営業。もう一つは、シーズンシートの販売だ。幅広い業種の企業と関わる事ができるのが魅力だという。例えば、教育関係の企業もあれば、病院関係、建築、不動産、宇宙の会社まで、本当に多種多様な企業と関わる事ができるおもしろさがあります。スポンサー企業がキャンペーンを行ってくれることで、相互にメリットを追求する点にやりがいを感じています。

「Fビレッジではシューズメーカーの「On(オン)」とパートナー

学生時代の「営業活動」が今に活かしている

学生たちへ、「まずは行動してみる、というチャレンジ精神を持つこと。また、学生時代に何か一つ、自分の中でやり切ったと言える経験を作ること。これをやり切った、と胸を張って言えるものがあるれば、きっと自分の支えになります。アルバイトでも、部活動でも、勉強でも、とにかくやり切ってみてください」とメッセージを贈っています。

「Fビレッジではシューズメーカーの「On(オン)」とパートナー



事務所も隣接するエスコンフィールド HOKKAIDO ©H.N.F.

経営学部 卒業生×教員 特別対談

飲食業界のイメージをポジティブなものに変えたい

今年3月に経営学部を卒業した盛大地さんは、本学在学中に起業し、「RAMEN ICHI」を皮切りに現在札幌市内4店舗のラーメン店の代表を務める。10月には新たに東京、メキシコにも店舗をオープンし、着実な成長を遂げている。「ただのラーメン好きの高校生」だった盛さんがここまで事業を拡大するに至った経緯を、経営学部長の今野喜文教授、総合実践英語などを担当する浦野研教授が聞き手となり伺った。



株式会社 ICHI 代表取締役 **盛 大地 氏**
経営学部経営学科 2024 年度卒・II 19 期生

「僕らは世代の飲食業界で働く人はバワハラを受けたり、精神を病んでしまっている方が沢山いて、飲食業界の社会的地位がとて低く、学

の飲食店を展開する会社のもとで雇われ店長を1年間やって、大学4年になったタイミングで独立しました。今野 ラーメン業界の中で差別化をするのは大変では。盛 全国のラーメンを食べ歩いて、東京の市場だと淡麗系のラーメンが受けている印象だったので、当時僕がお店を始めた頃は札幌にそういうラーメンはなくて、すき家の市場だった。大学3年の時にすき家



Toronto Metropolitan University Graduate Program Administrator **井田 梓 氏**
経営学部経営学科 2006 年度卒・1 期生

「自分が気になることは積極的に調べて、情報収集して、興味を持つ心を育ててほしいです。今はネットで簡単に情報を集めることができますが、経験してはじめて感じる、気づくことがあります。若いうちこそいう経験を積んで、何年か経ったときに振り返ってみて、当時の思いと比べるのも大切だと思います」。

好奇心への探究を大事にしてほしい

学生へメッセージを貰った。

英語が好きだった井田さんは、総合実践英語科目を開講した経営学部経営学科に入学。リーディングやライティングをバランスよく学習でき、少人数制のレベル別クラスも自身に合っていたという。「先生方も知りたいことにフォカスしてくれたり、フィードバック体制が充実していて、実践力が向上しました」。縁があった働きはじめたアルバイト先が国際色豊かな場だったことも、英語力向上の一助となった。3年生のときに卒業単位を取得した井田さんは、英語をもっと頑張りたいと思い、語学留学を決意。所属したトロントのESLでは上位のクラスになった。現地で学ぶ選択肢が広がった。友人にすすめられたこと、

「僕ら世代の飲食業界で働く人はバワハラを受けたり、精神を病んでしまっている方が沢山いて、飲食業界の社会的地位がとて低く、学生企業のこの若い会社が大きくなることによって、業界や社会に対して届けられるメッセージがあるんじゃないかと思っています」。

「僕らは世代の飲食業界で働く人はバワハラを受けたり、精神を病んでしまっている方が沢山いて、飲食業界の社会的地位がとて低く、学生企業のこの若い会社が大きくなることによって、業界や社会に対して届けられるメッセージがあるんじゃないかと思っています」。



左から今野喜文教授、浦野研教授



「RAMEN ICHI」の夜鳴き中華そば



柔道部のメンバー



硬式庭球部のメンバー



剣道部のメンバー

柔道部 全国大会出場

8月23日・24日に千歳市開幕記念総合武道館で開催された北海道学生柔道体連選手権大会および北海道学生柔道体連別団体優勝大会において、本学柔道部が団体戦で3位に入賞した。個人戦でも健闘し、団体・個人いずれも全

硬式庭球部 全国大会出場

9月17日〜22日に開催された令和7年度全日本大学対抗テニス王座決定試合北海道地区予選第58回北海道学生テニスリーグ男子の部において、本学硬式庭球部が7年ぶりの優勝を果たした。この結果により、2025年全国日本大学対抗テニス王座決定試合へ出場を決めた。

剣道部 全国大会出場

9月15日に札幌市東区体育館で開催された第72回北海道学生剣道優勝大会において、本学剣道部が準優勝となり、全国大会への出場を決めた。全国大会は11月16日にAsueアリーナ大阪で開催された。

